



神奈川県立相模原中等教育学校

県立相模原中等教育学校訪問記

2012年6月12日取材

相模大野駅から平坦な道をゆっくり歩いて15分、文教地区の落ち着いた環境に相模原中等教育学校・相模大野高校があります。8時25分の登校から16時50分の下校まで「ノーチャイム制」のもと、生徒は5分前行動を心掛けて日課をこなしています。開校から4年、いよいよ後期課程が始まった相模原中等教育に今年も訪問、加賀校長先生、赤井副校長先生、後藤教頭先生にご対応いただきました。



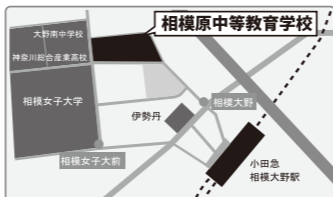
中等教育4学年の教室は東棟に【右上】窓の多い開放感あふれる廊下【左上】廊下の窓から見える中庭【左下】ゆとりある校舎の空間

国公立受験を視野に

まずは最上級学年の教室、英語の授業です。電子辞書を使いながら一心にノートに書き込む生徒、自分の答えと板書を見比べながら赤ペンを走らせる生徒など、それぞれが集中して授業を受けています。4年前のコーサスリーディングやネイティブの先生とのやり取りといったクラス全体の活気とは違う静かな活気が伝わってきます。

「後期課程は単位制ですが、国公立進学向けのカリキュラムを編成し、選択科目は4年次では芸術、5年次では理科と自由選択科目2単位のみです」と赤井副校長先生(以降「」は赤井副校長先生)。5年生までには受験に必要な科目の履修は終了し、6年次では学んだ学習をさらに深化できるようなレベ

DATA 募集定員 1 学年160名(男・女各80名)
〒252-0303 神奈川県相模原市南区相模大野四丁目1番1号
小田急線相模大野駅より徒歩10分
TEL 042-749-1279 fax 042-740-2852



■教室が狭く感じられるほどすっかり大きくなった? 1期生。

ルの高い自由選択科目を多く履修できるようにしているそうです。「自由選択科目や具体的な履修例は、夏休みに入るころにはホームページにも掲載する予定です」。相模原中等教育のキャッチコピーである「しっかり学び・じっくり育て・ゆっくり探る」のあらわれの一つですね。

「先生方とは4年5年の学習が重要だと話しています。生徒は得手不得手を抱えていますから、目下の課題は各教科の学力をバランスよく伸ばしていくことです」。学んだ学習のフォローアップや校外学習など、土曜講座や長期休業中の講習などで積極的に支援し、将来の大学受験に備えているそうです。



■2クラスを3つに分けた数学授業。基礎クラスは少人数でじっくり学習。

ハイレベルな授業ときめ細かな対応

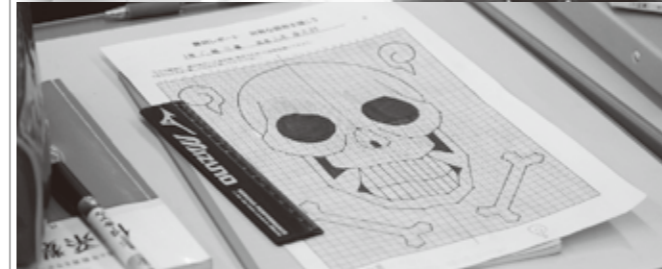
すっかり大人になった4年生の教室から3年生の教室へ。2クラスを3つに分けた習熟度別の数学授業です。どのクラスも二次関数を扱っていますが、少人数の応用クラス以外は高校1年生レベルの問題に取り組んでいます。

「単に成績で分けるのではなく、生徒の意思も尊重してクラス分けしています」。入学後、最も学力差が出やすいのが数学というのは、どこの公立中高一貫校にお話を聞いても挙がってくる共通の話題。適性検査の出題が算数の学力を測るものになっているのもうなずけます。

「全国規模の調査結果と比較すると、本校の生徒の家庭学習時間は少ないようです。今生徒たちには、学年の数にプラス1時間の家庭学習、3年生であれば1日4時間程度、週平均で時間を確保してほしいですと話しています」。

息づく「相模原スタイル」

さて、小学生の面影がまだ残る1年生の教室に行ってみます。数学は「幾何」の授業です。生徒がそれぞれに描いた線対称の図形を発表しています。相模原中等教育では中高一貫校が多く採用する「体系数学」を使っています。



「たとえ先生が異動になっても、相模原の授業が変わることはありません。先生個人の技ではなく、本校独自の授業手法を継承していくことが大切です」。開校初年度から毎年授業を見学していますが、みんなの前で発表したりディスカッションをしたりといった活動は、相模原の授業スタイルの一つとしてすっかりおなじみになっています。また、基礎期(1・2年次)の「読書・暗誦・ドリル」を重視した指導も受け継がれているようです。



■みんなの前でプレゼン。「相模原スタイル」は受け継がれています。

「初代田中学校長も加賀校長も、あいさつと身だしなみ(整理整頓)そして時間について、その大切さを生徒たちに事あるごとに伝えています」。『次世代を担うリーダー育成』を掲げる相模原中等教育の教育の柱は脈々と受け継がれているようです。

進路を定めていく

相模大野高校の大学進学実績も年々上昇しているようです。6年教育を生かした相模原中等にもおのずと期待が高まります。

「大野高校の生徒は予備校に頼らず学校の授業・講習を最大限生かした受験勉強で志望大学に進学しています。夜7時過ぎまで学校で自習する生徒の姿も見かけます。

中等4年生は近々東大駒場等へのキャンパスツアーを予定しているなど、大学を考える機会も増えていきます。また11月には『自己発見チャレンジ週間』があります。これは自分の興味ある会社や研究機関に行き、その仕事を体験してもらうものです。もちろんその成果をまとめ生徒には発表してもらいたいと思っています。将来の自分づくりに向けてさまざまな機会をとらえて体験や経験を積み重ねてほしいと思います。大野高校の先輩たちのように自分の力で大学進学をしっかりと果たしてほしいと願っています」
先行する都立中高一貫校の高い大学進学実績からもますます期待の高まる公立中高一貫校。相模原中等教育でも1期生の「成果」に向け着実に進化しているようです。



2012年度学校説明会予定 ※詳しくは相模原中等教育学校ホームページでご確認ください

- 8月3日(金) / グリーンホール相模大野 11:00~、14:00~ ※7月上旬よりWeb予約
- 11月10日(土)11日(日) / 学校

■学校見学は随時受け付けてくださるそうです
見学できない日もあるので事前に確認、予約をしたうえ、見学に行かれてください